

ジョナサン・ノット 音楽監督任期延長
東京交響楽団 創立 70 周年
2016 年度シーズンラインナップ
発表記者会見 資料

2015 年 9 月 7 日(月) 14:00~15:00
ミューザ川崎シンフォニーホール

<進行次第>

1. 川崎市長 福田紀彦 メッセージ紹介
2. ご挨拶 澤田秀雄 公益財団法人東京交響楽団 理事長
3. ご挨拶 大野順二 公益財団法人東京交響楽団 専務理事 楽団長
4. 音楽監督任期延長、2016 年度シーズンについて / 音楽監督ジョナサン・ノット
(通訳: 井上裕佳子氏)
5. 創立 70 周年記念ヨーロッパ・ツアーについて / 辻 敏 事務室長
6. その他の 2016 年度シーズンラインナップについて / 豊山 悟 企画制作本部 部長
7. 質疑応答
8. 写真撮影
9. 会見終了



*本日の記者会見は、当楽団定期会員・サポート会員も参加させていただいております。

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

川崎市長 福田 紀彦 メッセージ



このたび、東京交響楽団の2016年度シーズンラインナップ及び創立70周年記念事業が発表されましたこと、心からお喜び申し上げます。

川崎市のフランチャイズオーケストラである東京交響楽団は、ミュージア川崎シンフォニーホールを拠点に、市内の小学生を対象にした音楽鑑賞教室、市制90周年記念式典での演奏、病院・福祉施設での巡回公演など、様々な分野への積極的な取り組みを行い、川崎市の音楽文化の発展、向上に努めてこられました。

ジョナサン・ノット音楽監督の楽曲に対する深い理解に裏付けられた指揮と東京交響楽団の高い演奏水準は、多くの観客を魅了していると伺っていますが、来シーズンの多彩なプログラムを、どのような演奏スタイルで臨み、来場される皆さんにどのような感動を与えるのか、また、欧州での海外公演は、川崎市はもとより日本の文化芸術を世界に向けて発信する絶好の機会でありますので、今から楽しみが広がってまいります。

創立70周年の記念すべき年を迎えるにあたりまして、東京交響楽団のますますの御発展とジョナサン・ノット音楽監督のより一層の御活躍を心より祈念申し上げます。

川崎市長 福田 紀彦

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

澤田 秀雄 Hideo Sawada
公益財団法人東京交響楽団 理事長

1951年(昭和26年)大阪府出身。大阪市立生野工高を卒業後、旧西独マインツ大学に留学。80年(株)インターナショナルツアーズ(現・エイチ・アイ・エス)を設立。格安航空券を柱に急成長を遂げる。96年、オーストラリア・ゴールドコーストにホテルをオープン、会長に就任。98年、国内第4番目の航空会社・スカイマークエアラインズ(株)(現・スカイマーク(株))を就航させ、話題となる。99年、協立証券(現・エイチ・エス証券(株))の代表取締役役に就任。09年株式会社エイチ・アイ・エスの代表取締役会長に就任。2010年ハウステンボス株式会社の代表取締役社長に就任。そのほか、澤田ホールディングス株式会社代表取締役社長、モンゴルAG銀行(現ハーン銀行)代表取締役会長、一般社団法人日本経済団体連合会幹事、一般社団法人アジア経営者連合会理事長などを務める。

2012年9月1日付で、公益財団法人東京交響楽団理事長に就任した。

大野 順二 Junji Ohno
公益財団法人東京交響楽団 専務理事 楽団長

1961年(昭和36年)4月8日生まれ。秋田県湯沢市出身。秋田県立湯沢高等学校を経て、1984年(昭和59年)玉川大学文学部芸術学科音楽専攻を卒業。10歳よりヴァイオリンを始め、15歳でヴィオラに転向。これまでに玉置勝彦、中山良夫の各氏に師事。1986年(昭和61年)4月に東京交響楽団に入団し、ヴィオラ奏者として22年間活躍後、2008年(平成20年)4月パーソネルマネージャーに就任。

2009年(平成21年)10月1日付で楽団長、2010年(平成22年)6月23日付で専務理事に就任、現在に至る。現在、芸術家会議常任幹事、新宿区文化芸術振興会議委員も務める。平成26年9月より湯沢市ふるさと応援大使。

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

東京交響楽団 音楽監督ジョナサン・ノット 任期延長 —2020年3月まで—

公益財団法人東京交響楽団(理事長:澤田秀雄)は、2014年度より音楽監督を務めるジョナサン・ノット氏の任期を2020年3月まで延長することを決定いたしました。

ジョナサン・ノット氏が東京交響楽団に初登壇したのは、2011年10月(第593回定期演奏会 & 川崎定期演奏会第32回)、この一度の共演が決定的となり、翌2012年10月には次期音楽監督就任を発表、2014年度シーズンより3年間の契約で第3代音楽監督に就任しました。現在、2シーズン目中であり、今後も1シーズンに4回来日計8週間指揮いたします。

音楽監督ジョナサン・ノットのコメント:

「10代の頃からスポーツカーに憧れていたのですが、中でも大好きだったのが、イギリスのデザイン設計にドイツBMW社のエンジン、そして日本の技とも言うべき、伝説のドライバー関谷正徳氏が運転し1995年のル・マン24時間レースで優勝した、マクラーレンF1です。

その車を運転、ましてや所有することなどありえないだろうと思っていましたが、2011年にリハーサルと演奏会で計5日間を共にした後、楽団員の皆さんから次期音楽監督にとの申し出をいただきました。私はこれから共に歩いていくという気持ちを込めて、このレーシングカーの模型を買いました。——イギリスの設計者(ノット氏)、豊かで力強いドイツ的な響き、そして日本の技(東京交響楽団)の象徴として——。また最も重要なのが刺激的な音楽創りと迅速かつ多様な音楽の旅をすることです。

東京交響楽団は優れたオーケストラであり、そしてなんと素晴らしい聴衆の皆さんに恵まれていることでしょう!このパートナーシップの継続をこんなにも早く決断したことを、大変光栄に思っております。」

東京交響楽団 専務理事 楽団長 大野順二のコメント:

「2014年度からジョナサン・ノット氏を音楽監督として迎えることができ、楽団員全員とても幸せな日々を送っております。また、さらに2017年度から3年間、ノット監督と引き続き最新のヨーロッパサウンドと革新的なプログラムを継続できることは最上の喜びです。これからも音楽監督のもと、即興性に溢れた音楽を皆様におとどけいたします。」

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

ジョナサン・ノット Jonathan Nott

東京交響楽団 第3代音楽監督

ジョナサン・ノットは、2011年10月、サントリーホール定期&川崎定期演奏会で、ラヴェル「ダフニスとクロエ(全曲)」などを指揮して東京交響楽団デビュー。この1度の共演が、決定的となり、翌2012年には次期音楽監督就任発表、2014年度シーズンより東京交響楽団音楽監督に就任。音楽監督の任期を2020年3月まで延長した。

1962年イギリス生まれ。ケンブリッジ大学で音楽を専攻し、マンチェスターで声楽、フルート、指揮を学んだ。ドイツのフランクフルトとヴィースバーデン州立歌劇場で指揮者としてのキャリアをスタートし、オペラ作品に意欲的に取り組んだ。1997年にルツェルン交響楽団首席指揮者、2000年にはアンサンブル・アンテルコンタンポランの首席指揮者を務め、さらに2000年からドイツ・バンベルク交響楽団の首席指揮者に就任。2010年、同オーケストラとのCD「マーラー交響曲第9番」を世界で権威あるフランスのMidem音楽賞最優秀交響曲作品賞受賞へ導き、オーケストラの知名度を一躍広めた。2016/17年シーズンからは、スイス・ロマンド管弦楽団の音楽監督に就任する。

バンベルク響とザルツブルク音楽祭、BBCプロムス、エジンバラ音楽祭、ルツェルン音楽祭等、世界中の音楽祭に出演している。なかでもルツェルン音楽祭においては、2007年にアーティスト・エトワール(招待スター演奏家)に選ばれたほか、2013年ルツェルン音楽祭75周年にはワーグナー<ニーベルングの指環・全4作品>を指揮、大きな話題となった。古典から現代曲まで幅広いレパートリーと抜群のプログラミングセンスを持つノットは、その多岐にわたる活躍が評価され、2009年バイエルン文化賞が贈られた。

ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、ニューヨーク・フィル、シカゴ響、ロサンゼルス・フィル、フィラデルフィア管、ロイヤル・コンセルトヘボウ、バーミンガム市響、チューリッヒ・トーンハレ、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、サンタ・チェチーリア管など世界トップクラスのオーケストラと共演を重ねている。

ルツェルンとベルンの音楽院、マドリッドのソフィア王妃高等音楽院で後進の指導をするほか、バンベルクでもアカデミーを設立した。2009年にはマーラー・ユース・オーケストラを率いて、ヨーロッパツアーを行った。またバンベルクで開催される「マーラー国際指揮者コンクール」も統括している。

レコーディング活動においてもノットの多彩な才能が生かされており、ベルリン・フィルを指揮したリゲティの作品全集(Teldec)や、アンサンブル・アンテルコンタンポランとのエマヌエル・ヌネス作品集、ラッヘンマン作品集、ジョン・アダムズのDVD、クセナキス、ベリオほかの作品集といった現代作品や、バンベルク響とのマーラー、ブルックナー、シューベルト、ストラヴィンスキーの作品(Tudor)をリリースしている。

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

ジョナサン・ノット&東京交響楽団 2016 年度シーズン 主催公演ラインナップ
『 ジョナサン・ノット&東京交響楽団 Season 3 』

東京交響楽団音楽監督ジョナサン・ノットは3年目のシーズン、定期演奏会4回、川崎定期演奏会2回、東京オペラシティシリーズ2回、名曲全集1回の計6演目9公演へ登場。ベルク、ブラームス、ブルックナー、ベートーヴェン、ショスタコーヴィチ、ワーグナー、デュティユ、シューマン、リゲティ、パーセル、R. シュトラウス、武満徹、ドビュッシー、といった自身のメインレパートリーとする後期ロマン派を中心に、古典から現代作品まで幅広い作曲家作品が並びます(*アンダーライン部分は、音楽監督ノットと東京交響楽団で初めて演奏する作曲家)。

(参考:音楽監督ジョナサン・ノットがこれまでのシーズンに取り上げた作曲家)

バッハ、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、ブルックナー、ベルリオーズ、ドヴォルザーク、ワーグナー、マーラー、ドビュッシー、R.シュトラウス、ラヴェル、バルトーク、シェーンベルク、ストラヴィンスキー、ショスタコーヴィチ、シュニトケ、ウェーベルン、リゲティ、フェルドマン、ブーレーズ、細川俊夫、藤倉大

各シリーズ公演について

定期演奏会 サントリーホール (10公演)	1947年、東京交響楽団の前身「東宝交響楽団」時代に第1回目の公演が行われました。いつの時代も東京交響楽団の「今・そして未来」を感じさせるシリーズ。
川崎定期演奏会 ミューザ川崎シンフォニーホール (5公演)	今やその極上の音響が世界に知れ渡る本拠地ホール、ミューザ川崎シンフォニーホールでのシリーズ。定期演奏会から厳選した5つの演奏会をおおくりします。
名曲全集 ミューザ川崎シンフォニーホール (10公演)	2004年スタートの、今や週末の午後の定番シリーズ。マエストロ(名匠)によるマスターピース(名曲)の数々を堪能できると高い人気を誇るシリーズ。
東京オペラシティシリーズ 東京オペラシティコンサートホール (6公演)	1998年スタート以来、東響指揮者陣を始め海外で注目の指揮者、アーティストがいち早く登場するシリーズ。土曜の午後2時開演と、このシリーズだけのシルバー割引も魅力。

音楽監督ジョナサン・ノット指揮 公演

<4月定期/川崎定期>

シェーンベルク:「ワルシャワの生き残り」、ベルク:「ルル」組曲、ブラームス:ドイツ・レクイエム前半の「ワルシャワの生き残り」と「ルル組曲」は、悲しい運命を背負った男女のそれぞれの人生のストーリー。後半では、マーラー:交響曲第8番以来ノット氏が全幅の信頼を置く東響コーラスとの共演第3弾に、ブラームスの名声を決定づけたドイツ・レクイエム。ソプラノとバリトンの、「一人二役」の歌唱・ナレーションも聴きどころです。ノット&東響のロマンティックで官能的なシェーンベルクとベルクというプログラミングの妙は、これぞノット・ワールド!

<7月定期>

ブルックナー:交響曲第8番

交響曲第3番、交響曲第7番に続くノット&東響のブルックナー第3弾は、後期ロマン派の代表作の一つとも言える交響曲第8番。チクルスではないものの、1年に1曲ずつ、歩を確かめ



[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

るように取り上げてきたブルックナーは、確実に熟成しています。シューベルトの引用や主題に人間的テーマが示される一方、「神」の領域がより多い第8番(ノット監督談)が、どのように演奏されるか、ご期待ください。

<10月定期>

ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲、ショスタコーヴィチ:交響曲第10番

マーラー、ブルックナー、ワーグナー等と並び、音楽監督ノットの重要なレパートリーであるショスタコーヴィチ。その中でも傑作との呼び声高い交響曲第10番は、戦争三部作の真の完結編とも言われ、最もエキセントリックな曲でもあります。世界の檜舞台を飛翔するヴァイオリニスト、イザベル・ファウストを迎えてのベートーヴェンにも大きな期待が寄せられます。このプログラムは、東響70周年記念ヨーロッパ・ツアーでも演奏されます。

<12月定期/川崎定期>

ワーグナー:楽劇「トリスタンとイゾルデ」第1幕への前奏曲、

デュティユー:チェロ協奏曲「遙かなる遠い国へ」、シューマン:交響曲第2番

音楽監督ノットの重要なレパートリーであるワーグナーの中でも最も大切という「トリスタンとイゾルデ」から、〈第1幕への前奏曲〉。また「楽団員のヴィルトウオジティ(技能)も磨きたい」という理由からの選曲となるシューマンの交響曲第2番。生誕100年を迎えるデュティユーの協奏曲は、今や世界的チェリストに成長したモーザーをソリストに迎えます。ノット&東響による、ドイツからフランスへの「音楽史の旅」をお楽しみください。

<4月オペラシティ>

**リゲティ:アトモスフェール、パーセル:ヴィオラ・ダ・ガンバのためのファンタジア&イン・ノミネ
から、リゲティ:サンフランシスコ・ポリフォニー、R.シュトラウス:ツァラトゥストラはかく語りき**

映画「2001年宇宙の旅」に挿入された2曲「アトモスフェール」で始まり「ツァラトゥストラ」で終わる「コスモ(宇宙)・プログラム」。リゲティとパーセルは間断なく交互に演奏され、時代も編成も全く異なる「ポリフォニー(複数の独立した声部からなる音楽)」の対比をお楽しみ頂けます。宇宙をも連想させる時空を超えたプログラミングの旅。

<11月オペラシティ>

武満徹:弦楽のためのレクイエム、ドビュッシー:海、ブラームス:交響曲第1番

当楽団が委嘱初演した武満徹の代表作の一つ《弦楽のためのレクイエム》、ドビュッシーが葛飾北斎の波間の富士を見て作曲した《海》、音楽監督ノットが大切なレパートリーとしてあためているブラームスの交響曲から第1番。「日本—日本とヨーロッパ—ヨーロッパ」という繋がりを持つこのプログラムは、東響70周年記念ヨーロッパ・ツアーでも演奏されます。

正指揮者 飯森範親によるロシアプログラム

ポポーフ:交響曲第1番、プロコフィエフ:カンタータ《アレクサンドル・ネフスキー》

首席客演指揮者 クシシュトフ・ウルバンスキのチャイコフスキー4番

2016年度5公演に出演する正指揮者飯森範親はロシア作品に注目します。ショスタコーヴィチと同時期にソ連で活躍した作曲家ガブリエル・ニコラエヴィチ・ポポーフの《交響曲第1番》は演奏時間約50分を要する大作。ロシア・アヴァンギャルドの傑作として紹介されるものの、第二次大戦を経てその存在が幻となっていました。《アレクサンドル・ネフスキー》はセルゲイ・エイゼンシュテイン監督によるソ連映画「アレクサンドル・ネフスキー」(1938年公開)のための音

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

楽から演奏会用に改作された作品(8月定期、オペラシテシシリーズ2017年1月)。首席客演指揮者ウルバンスキは1公演へ出演。アレクサンダー・ロマノフスキーとプロコフィエフのピアノ協奏曲第3番、そして当楽団とは初めてチャイコフスキー:交響曲第4番を指揮します(5月定期)。

桂冠指揮者ユベール・スダーン ベルリオーズ《ファウストの劫罰》
ミハイル・ペトレンコがメフィストフェレス役で登場
桂冠指揮者秋山和慶 メシアン、矢代秋雄、シュミット、クロンマー、
東響日本初演作品ショスタコーヴィチ:《交響曲第9番》

名誉指揮者になって以降、師ジャン・フルネ氏直伝のフランス音楽に精力的に取り組む桂冠指揮者ユベール・スダーン。東京交響楽団創立70周年に満を持してベルリオーズの大作《ファウストの劫罰》を取り上げます。ソリストには、ペトレンコ、スパイレス、コッホらの世界的な歌手に加え、日本から北川辰彦が参加。ベルリオーズが、ゲーテのファウストを読んで以降、長い年月をかけ、とり憑かれたように作曲したというこの作品は、まさに東響創立70周年の白眉の一つとなるでしょう(9月定期)。

同じく桂冠指揮者秋山和慶は、5演目6公演に登場。定期演奏会ではメシアン、矢代秋雄、シュミットという、挑戦的なプログラミング(2017年1月定期)。さらに東響創立70周年を記念して「70」にかけたプログラミングでは、ハイドン:交響曲第70番、クロンマー:フルートとヴァイオリンのための協奏交響曲、ショスタコーヴィチ:交響曲第9番が揃いました。なかでもショスタコーヴィチ9番は当楽団により1948年3月、上田仁により日本初演された作品(オペラシテシシリーズ2017年3月)。

2016年度客演指揮者:

ドミトリー・シトコヴェツキー、ダニエーレ・ルスティオーニ、鈴木雅明、井上道義
ロレンツォ・ヴィオッティ、シモーネ・ヤング、シーヨン・ソン

次世代の指揮者として脚光を浴びているダニエーレ・ルスティオーニは、1983年生まれながら今や「アバドの筆頭後継者」とも評されるイタリアの俊英指揮者。2017年からフランス国立リヨン歌劇場の首席指揮者に就任することも決定しています。故アバド同様レパートリーもイタリアものに限らず、十八番である今回のロシアプログラムで東響定期デビュー。イタリアの若手フランチェスカ・デゴも近年ドイツ・グラモフォンと契約するなど、世界的に注目を集めているヴァイオリニストです(6月定期)。

2014年7月、首席客演指揮者ウルバンスキの代役として当団を指揮し、大絶賛された故マルチェロ・ヴィオッティの忘れ形見ロレンツォ・ヴィオッティが再登場。オペラ指揮者の父とフランス人の母の元に生まれ、ウィーンで学んだヴィオッティの人生そのものを表すかのようなプログラミング。2015年8月ザルツブルク音楽祭若手指揮者コンクールで優勝し、一躍注目を集めています(オペラシテシシリーズ9月&名曲全集9月)。

東京交響楽団初登場となるシモーネ・ヤングは2016年11月の二期会オペラ《ナクソス島のアリアドネ》で当楽団と共演します。ハンブルク国立歌劇場総支配人、ハンブルク・フィルハーモニー首席指揮者を兼任し、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団を女性指揮者として初めて指揮したことでも知られています。また巨匠ダニエル・バレンボイムが絶賛するアリサ・ワイラー・スタインは、名曲ドヴォルザークのチェロ協奏曲を日本初披露します。



[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

そのほか、東京交響楽団初登場となる指揮者陣は、メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲の弾き振りで東響初登場するアゼルバイジャン出身のドミトリー・シトコヴェツキー（名曲全集 5月）、バッハ演奏の第一人者として知られる鈴木雅明は長男、鈴木優人と共にサン＝サーンス《オルガン付き》とモーツァルト作品を（名曲全集 6月）。音楽監督ジョナサン・ノットが統括するマーラー・コンクールで 2007 年に優勝のほか、2007/08 シーズンにボストン交響楽団アシスタントコンダクターを務めた気鋭の若手女性指揮者シーヨン・ソンを迎えます（名曲全集 2017 年 2月）。

こども定期演奏会～こども定期 15 周年&サントリーホール 30 周年～

2002 年に日本初の試みとして始まったサントリーホールとの共催による、こどもを対象とした年 4 回の「定期演奏会」は、2016 年度に 15 周年を迎えます。2016 年度の指揮者陣には秋山和慶、藤岡幸夫、現田茂夫、飯森範親、ソリストには佐藤友紀、千住真理子、松田華音、佐藤優子といった音楽界の重鎮から期待の新人まで幅広い演奏家が登場し、こどもたちに熱い演奏を届けます。各演奏会の冒頭に演奏するテーマ曲やチラシに使うイラストを募集するほか、こどもレセプション、こどもソリストも募集します（入場は就学児以上から）。

こども定期演奏会ネット <http://www.codomoteiki.net/>

第 57 回(4 月)大地のリズム／第 58 回(7 月)風にそよぐメロディー／第 59 回(9 月)流れる水のスタイル／第 60 回(12 月)炎のハーモニー

**音楽監督ジョナサン・ノット指揮 演奏会形式オペラモーツァルト《コジ・ファン・トゥッテ》
ノット自らハンマーフルーゲルを演奏**

音楽監督ジョナサン・ノットがモーツァルトのオペラを演奏会形式で上演。舞台監修には「サー」の称号も持つ名バリトン、トーマス・アレンが手掛けます。また、ノット自らハンマーフルーゲルを演奏。世界のオーケストラ、歌劇場で活躍する歌手陣が揃い、充実のモーツァルトサウンドをおとどけします。

モーツァルト: 歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」(全 2 幕／イタリア語／演奏会形式)

2016 年 12 月 9 日(金) ミューザ川崎シンフォニーホール
2016 年 12 月 11 日(日) 東京芸術劇場

ジョナサン・ノット(指揮)
東京交響楽団(管弦楽)

サー・トーマス・アレン(舞台監修)

【フィオルディリージ】ミア・パーション Miah Persson
【ドラベッラ】マイテ・ボモン Maite Beaumont
【デスピーナ】ヴァレンティナ・ファルカス Valentina Farcas
【フェルランド】ショーン・マシー Shawn Mathey
【グリエルモ】マルクス・ウェルバ Markus Werba
【ドン・アルフォンソ】サー・トーマス・アレン Sir Thomas Allen
【合唱】新国立劇場合唱団

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

東京交響楽団 創立 70 周年記念 ヨーロッパ・ツアー

～復興・交流・未来のために～

東京交響楽団は 2016 年度に迎える創立 70 周年を記念し、音楽監督ジョナサン・ノットとともにヨーロッパ・ツアーを行います。全公演が招待を受けての演奏会となっており、5 か国 5 都市と広く国際交流を図ります。

2011 年の東日本大震災では本拠地ミュゼ川崎シンフォニーホールが多大なる被害を受けましたが、その大震災から 5 年、国内外の多くの方々からの励ましやご支援を頂き、ようやくヨーロッパ・ツアーの実現に至りました。ウィーン楽友協会ホールやプロツワフ(2016 年欧州文化首都)での国際音楽フォーラムなど、世界最高峰の舞台で成果を披露するとともに、復興の一つのシンボルとして国内外で広くその存在感を示し、オリンピック/パラリンピックへの機運を高めます。

この海外公演では、主催者側の要望もあり、当楽団の数々の歴史的初演曲の中から武満徹《弦楽のためのレクイエム》、日本の版面にインスパイアされたドビュッシーが作曲した交響詩《海》、中欧の代表的作曲家であるベートーヴェンとブラームス、東欧を代表するショスタコーヴィチと、日本の趣を大切にしながらも、ノット&東京交響楽団らしい大胆かつ幅広い曲目で挑みます。また、ソリストには国際的ヴァイオリニストであるイザベル・ファウストを迎えます。

公演①	2016 年 10 月 20 日	ポーランド・プロツワフ ＜2016 年欧州文化首都＞*	国際音楽フォーラム (2015 年秋新オープン)
公演②	10 月 22 日	クロアチア・ザグレブ*	ヴァトロスラフ・リシンスキ コンサートホール
公演③	10 月 24 日	オーストリア・ウィーン	ウィーン楽友協会大ホール
公演④	10 月 26 日	オランダ・ロッテルダム*	デ・ドレーンコンサートホール
公演⑤	10 月 27 日	ドイツ・ドルトムント*	ドルトムントコンサートホール

*初訪問都市

＜プログラム A＞

指揮＝ジョナサン・ノット

ヴァイオリン＝イザベル・ファウスト

ベートーヴェン:ヴァイオリン協奏曲 ニ長調

ショスタコーヴィチ:交響曲 第 10 番

(東京交響楽団 1954 年日本初演作品)

＜プログラム B＞

指揮＝ジョナサン・ノット

武満徹:弦楽のためのレクイエム

(東京交響楽団 1957 年委嘱初演作品)

ドビュッシー:交響詩「海」

ブラームス:交響曲 第 1 番

*プログラム A は 2016 年 10 月 15 日第 645 回定期演奏会、プログラム B は 2016 年 10 月 8 日名曲全集第 121 回&2016 年 10 月 9 日東京オペラシティシリーズ第 94 回で演奏致します。

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

東京交響楽団 これまでの海外ツアーの記録

2010年7月&2011年7月

中国:大連

2006年5月(創立60周年記念)

中国:北京

2001年9月(創立55周年記念)

トルコ:アンカラ、イスタンブール

イタリア:ミラノ、ローマ

1996年5月(創立50周年記念)

ドイツ:ミュンヘン、ニュルンベルク、アウグスブルク

フランス:パリ、ナルボンヌ

スペイン:ヴァレンシア

デンマーク:コペンハーゲン

オーストリア:ウィーン

1994年5月

ポルトガル:リスボン

1992年8月

シンガポール:シンガポール

タイ:バンコク

1991年9月~10月(創立45周年記念)

スイス:ロカルノ

ドイツ:アウグスブルク、ニュルンベルク、ミュンヘン、デュッセルドルフ

英国:バーミンガム、グラスゴー、スウォンジー、ベルファスト、ロンドン

米国:ウエスト・アイスリップ、エルマイラ、ベツレヘム、アムハースト、ブロンクス、
ブルームズバーグ、ニューブランズウィック、ニューヨーク国連総会本会議場

1986年9月(創立40周年記念)

中国:北京、上海

1982年9月

大韓民国:ソウル

1976年9月~10月(創立30周年記念)

カナダ:バンクーバー

米国:ポートランド、ブルマン、プロボ、ローガン、ツーソン、ダラス、フェニックス、ロサンゼルス、
ラスベガス、サンタ・バーバラ

メキシコ:メキシコ、プエブラ、モンテレー

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

2016 年度シーズンのチケットプランについて

選べるプラン

2014 年度シーズンからスタートし、好評の「選べるプラン」は、東京交響楽団主催演奏会3シリーズ(定期演奏会・川崎定期演奏会・東京オペラシティシリーズ)の全 21 公演からお好みの4公演以上を自由に選んで組み合わせただけのプランです。お好きな公演をお好きなだけ割安で楽しんでいただけます。

対象公演:2016 年度定期演奏会(10 公演)、川崎定期演奏会(5 公演)、
東京オペラシティシリーズ(6公演)の全 21 公演

対象座席:S席～B席(組み合わせは自由)

価格:お好みの 4 公演以上を選んで同時に申込の場合、20%引きにて購入可。

発売:2016 年 1 月 14 日(木)

その他各種割引制度

■シルバーエイジ割引 (対象:東京オペラシティシリーズ)

対象:購入時に 65 歳以上のお客様

東京オペラシティシリーズの 1 回券(S・A・B 席のみ、C 席除く)を 1,000 円引きで販売いたします。TOKYO SYMPHONY チケットセンターへお電話でお申込み。

■ハート割引

対象:障害者手帳をお持ちの方とお付添い 1 名様。*車いすエリアは各公演の最安料金でお求めいただけます。

対象座席:1 回券の各席種

■当日学生券 1000 円!

対象:24 歳以下の学生

東京交響楽団単独主催(特別演奏会は除く)で公演当日に残席がある場合、当日券販売窓口にて、**ご本人様に限り 1,000 円にて**楽団指定の座席を限定枚数販売いたします。当日学生券の発売情報は、公演 1 週間前に公式ホームページで発表いたします。学生証と年齢の確認できるものをご提示いただいた上、ご購入いただきます。

■《マエストロ・シート》

対象:小学生、中学生、高校生

*小学生・中学生は必ず保護者の方とお二人一組で申込みで

無料
ご招待

<定期演奏会><川崎定期演奏会><東京オペラシティシリーズ>へ各公演の指揮者が小・中学生、高校生のみなさん(5 組 10 名様)をご招待します。終演後にはスタッフがボックスステージの指揮者の楽屋にご案内します。

申込方法:各公演の1ヶ月前までに、ご来場のお二人のご住所、お名前、年齢、電話番号とご希望の演奏会日を明記の上、Eメール/maestroseat@tokyosymphony.com でお申し込み下さい。当選者にはご招待状をお送りします。

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81(0)3-3362-6764 Fax +81(0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81(0)44-520-1518 Fax +81(0)44-543-1488

東京交響楽団

1946年東宝交響楽団として創立、1951年に東京交響楽団に改称し現在に至る。2014年度シーズンより、ジョナサン・ノットが第3代音楽監督に就任。正指揮者に飯森範親、首席客演指揮者にクシシュトフ・ウルバンスキ、桂冠指揮者に秋山和慶、ユベール・スダーン、名誉客演指揮者に大友直人を擁する。現代音楽の初演などにより、文部大臣賞、京都音楽賞大賞、毎日芸術賞、文化庁芸術作品賞、サントリー音楽賞、川崎市文化賞等を受賞している。川崎市のフランチャイズオーケストラ、新潟市の準フランチャイズオーケストラ、(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団とはパートナーシップ協定を結び、活動の場を拡げている。教育面でも「こども定期演奏会」「0歳からのオーケストラ」が注目を集めている。新国立劇場ではレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当。海外公演も数多く行っており、これまでに53都市71公演を行っている。

公式HP <http://tokyosymphony.jp>

プレスページのご案内 tokyosymphony.jp/press

2015年度シーズン出演のアーティスト写真をはじめ、東京交響楽団の指揮者陣、オーケストラ写真、プレスリリースを自由にダウンロードしていただける、マスコミの皆様専用ページです。

【取材等お問合せ】

公益財団法人東京交響楽団 広報本部／高瀬 takase@tokyosymphony.com
TEL: 044-520-1518 FAX: 044-543-1488

*次ページに資料:音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団 (2015年度シーズンまでの公演記録)

資料: 音楽監督ジョナサン・ノット&東京交響楽団 公演記録(2015年度シーズンまで)

<2015年度シーズン/Season 2>

定期演奏会/サントリーホール

日時	出演	曲目
第 631 回 2015年6月6日(土) 6:00p.m.	ジョナサン・ノット	R.シュトラウス:メタモルフォーゼン ブルックナー:交響曲 第7番
第 632 回 2015年7月16日(木) 7:00p.m	ジョナサン・ノット Pf: デジャー・ランキ	ストラヴィンスキー:管楽器のための交響曲 バルトーク:ピアノ協奏曲 第1番 ベートーヴェン:交響曲 第5番「運命」
第 633 回 2015年9月12日(土) 6:00p.m	ジョナサン・ノット Ms: 藤村実穂子 児童合唱: 東京少年少女合唱隊 女声合唱: 東響コーラス	マーラー: 交響曲 第3番
第 635 回 2015年11月22日(日) 2:00p.m	ジョナサン・ノット Pf: エマニュエル・アックス*	リゲティ: ポエム・サンフォニック ~100台のメトロノームのための J.S.バッハ/ストコフスキー: 甘き死よ来たれ BWV478 R.シュトラウス:ブルレスケ ~ピアノと管弦楽のための* シヨスタコーヴィチ:交響曲 第15番

川崎定期演奏会/ミュゼ川崎シンフォニーホール

日時	出演	曲目
第 51 回 2015年7月18日(土) 5:00p.m	ジョナサン・ノット Pf: デジャー・ランキ	ストラヴィンスキー:管楽器のための交響曲 バルトーク:ピアノ協奏曲 第1番 ベートーヴェン:交響曲 第5番「運命」
第 52 回 2015年9月13日(日) 2:00p.m	ジョナサン・ノット Ms: 藤村実穂子 児童合唱: 東京少年少女合唱隊 女声合唱: 東響コーラス	マーラー: 交響曲 第3番

東京オペラシティシリーズ/東京オペラシティコンサートホール

日時	出演	曲目
第 87 回 2015年7月11日(土) 2:00p.m.	ジョナサン・ノット Pf: 萩原麻未	細川俊夫:循環する海 ラヴェル:左手のための協奏曲 ドビュッシー:管弦楽のための映像
第 89 回 2015年11月28日(土) 2:00p.m.	ジョナサン・ノット	フェルドマン:ヴィオラ・イン・マイ・ライフⅡ バルトーク:弦楽器と打楽器とチェレスタのための音楽 ドヴォルザーク:交響曲 第8番

名曲全集／ミュージア川崎シンフォニーホール

日時	出演	曲目
第 108 回 2015 年 6 月 14 日(日) 2:00p.m.	ジョナサン・ノット Hr: サボルチ・ゼンプレーニ Pf: 若林 顕*	R.シュトラウス: ティル・オイレンシュピーゲルの愉快な悪戯 R.シュトラウス:ホルン協奏曲 第 2 番 ストラヴィンスキー:バレエ音楽 「ペトルーシュカ(1947)」*
第 112 回 2015 年 11 月 23 日(月・祝) 2:00p.m.	ジョナサン・ノット Pf: エマニュエル・アックス	リゲティ:ポエム・サンフォニック ~100 台のメトロノームのための J.S.バッハ/ストコフスキー: 甘き死よ来たれ BWV478 R.シュトラウス:ブルレスケ ~ピアノと管弦楽のための ショスタコーヴィチ:交響曲 第 15 番

ミュージア川崎シンフォニーホールでのその他の公演

日時	出演	曲目
モーツァルトマチネ第 22 回 2015 年 9 月 6 日(日) 11:00a.m.	ジョナサン・ノット Vn: 水谷晃 Vla: 青木篤子	モーツァルト: ヴァイオリンとヴィオラのための協奏 交響曲 変ホ長調 K. 364 モーツァルト:交響曲 第 25 番

<2014 年度シーズン／Season 1>

定期演奏会／サントリーホール

日時	出演	曲目
第 619 回 2014 年 4 月 20 日(日) 2:00p.m.	ジョナサン・ノット 笙:宮田まゆみ	武満徹:セレモニアル - 秋の歌 マーラー:交響曲第 9 番
第 621 回 2014 年 6 月 14 日(土) 6:00p.m.	ジョナサン・ノット Ms:ジェニファー・ラーモア	ブーレーズ:ノタシオン I~IV ベルリオーズ:夏の夜 シューベルト:交響曲第 8 番「グレイト
第 626 回 2014 年 12 月 13 日(土) 6:00p.m.	ジョナサン・ノット	ワーグナー:ジークフリート牧歌 ブルックナー:交響曲第 3 番「ワーグナー」 (1873 年第 1 稿)
第 628 回 2015 年 3 月 14 日(土) 6:00p.m.	ジョナサン・ノット パルジファル: クリスティアン・エルスナー クンドリ:アレックス・ペンダ	ベルク:抒情組曲(弦楽合奏) ワーグナー:舞台神聖祝典劇 「パルジファル」抜粋

[HEAD OFFICE]

2-23-5 HYAKUNIN-CHO
SHINJUKU-KU
TOKYO 169-0073 JAPAN
Phone +81 (0)3-3362-6764 Fax +81 (0)3-3360-8249

[KAWASAKI OFFICE]

MUZA KAWASAKI CENTRAL TOWER 5F
1310 OMIYA-CHO SAIWAI-KU KAWASAKI-SHI
KANAGAWA 212-8554 JAPAN
Phone +81 (0)44-520-1518 Fax +81 (0)44-543-1488

川崎定期演奏／ミュゼ川崎シンフォニーホール

日時	出演	曲目
第 45 回 2014 年 4 月 19 日(土) 6:00p.m.	ジョナサン・ノット 笙:宮田まゆみ	武満徹:セレモニアル - 秋の歌 マーラー:交響曲第 9 番
第 49 回 2015 年 3 月 13 日(金) 7:00p.m.	ジョナサン・ノット パルジファル: クリスティアン・エルスナー クンドリ:アレックス・ペンダ	ベルク:抒情組曲(弦楽合奏) ワーグナー:舞台神聖祝典劇 「パルジファル」抜粋

東京オペラシティシリーズ／東京オペラシティコンサートホール

日時	出演	曲目
第 79 回 2014 年 4 月 27 日(日) 2:00p.m.	ジョナサン・ノット Pf:佐藤卓史	ウェーベルン:管弦楽のための 5 つの小品 Op.10 シューベルト:交響曲第 4 番「悲劇的」 ブラームス:ピアノ協奏曲第 1 番
第 80 回 2014 年 6 月 21 日(土) 2:00p.m.	ジョナサン・ノット Fl:相澤政宏 Ob:荒 絵理子 Cl:エマニュエル・ヌヴェー Fg:福井 蔵 Perc: ネイサン・デイヴィス	J.S.バッハ/ウェーベルン:6 つのリチェルカーレ 藤倉大:木管楽器・打楽器による 5 人のソリストと オーケストラのための《Mina》 ハイドン:交響曲第 44 番「悲しみ」 ブラームス:交響曲第 4 番

名曲全集／ミュゼ川崎シンフォニーホール

日時	出演	曲目
第 96 回 2014 年 4 月 26 日 (土) 2:00p.m.	ジョナサン・ノット Pf:佐藤卓史	ウェーベルン:管弦楽のための 5 つの小品 Op.10 シューベルト:交響曲第 4 番「悲劇的」 ブラームス:ピアノ協奏曲第 1 番

新潟定期演奏会／新潟市民芸術文化会館りゅーとぴあ

日時	出演	曲目
第 84 回 2014 年 6 月 15 日(日) 5:00p.m.	ジョナサン・ノット Ms:ジェニファー・ラーモア	ブーレーズ:ノーテーションズ I ~ IV ベルリオーズ:夏の夜 シューベルト:交響曲第 8 番「グレイト」
第 87 回 2014 年 12 月 14 日(日) 5:00p.m.	ジョナサン・ノット	ワーグナー:ジークフリート牧歌 ブルックナー:交響曲第 3 番「ワーグナー」 (1873 年第 1 稿)

ミュージア川崎シンフォニーホールでのその他の公演

日時	出演	曲目
ミュージア川崎シンフォニーホール 開館 10 周年記念コンサート 2014 年 12 月 7 日(日) 3:00p.m.	ジョナサン・ノット エリン・ウォール メラニー・ディーナー アニカ・ゲルハルズ イヴォンヌ・ネーフ ゲルヒルト・ロンベルガー ニコライ・シューコフ デトレフ・ロス リアン・リ 東響コーラス 東京少年少女合唱隊	マーラー:交響曲第 8 番 変ホ長調 「千人の交響曲」
モーツァルトマチネ第 20 回 2015 年 3 月 22 日(日) 11:00a.m.	ジョナサン・ノット	シュニトケ:ハイドン風モーツァルト ハイドン:交響曲 第 86 番 モーツァルト:交響曲 第 31 番「パリ」

<2013 年度シーズン>

定期演奏会 / サントリーホール

日時	出演	曲目
第 614 回 2013 年 10 月 13 日(日) 2:00p.m.	ジョナサン・ノット Sop:クリスティーネ・ブリューワー	R.シュトラウス:4 つの最後の歌 R.シュトラウス:アルプス交響曲

新潟定期演奏会 / 新潟市民芸術文化会館りゅーとぴあ

日時	出演	曲目
第 80 回 2013 年 10 月 14 日(月・祝) 5:00p.m.	ジョナサン・ノット Sop:クリスティーネ・ブリューワー	R.シュトラウス:4 つの最後の歌 R.シュトラウス:アルプス交響曲

<初共演・2011 年度シーズン>

定期演奏会 / サントリーホール

日時	出演	曲目
第 593 回 2011 年 10 月 7 日(金) 7:00p.m.	ジョナサン・ノット Pf:小菅 優 新国立劇場合唱団	ドビュッシー:「夜想曲」より“シレーヌ” シェーンベルク:ピアノ協奏曲 作品 42 ラヴェル:ダフニスとクロエ(全曲)

川崎定期演奏会 / テアトロ・ジーリオ・ショウワ

日時	出演	曲目
第 32 回 2011 年 10 月 10 日(月・祝) 2:00p.m.	ジョナサン・ノット Pf:小菅 優 新国立劇場合唱団	ドビュッシー:「夜想曲」より“シレーヌ” シェーンベルク:ピアノ協奏曲 作品 42 ラヴェル:ダフニスとクロエ(全曲)